

発行所
真宗大谷派宗務所
代表者 木越 渉
編集/東本願寺出版(真宗大谷派宗務所出版部)
〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る
TEL.075-371-9189(東本願寺出版)

購読料 無料
送料 1部1カ年1,300円
(1,182円+税10%)※部数により変動
振替口座番号 01000-6-27404
加入者名 東本願寺出版部

東本願寺公式YouTubeにて
さまざまな行事の様子を
公開しています。



東本願寺NEWS 検索

どうぼうしんぶん

同朋新聞

Dōbō Shimbun

3

Vol. 808
March 2025



真宗本廟の庄川桜

今月の写真

真宗本廟境内南側の庄川桜(二世桜)。これは、2017年12月に高山教区(当時・高山別院)の宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌の記念事業として植樹されました。「庄川桜」は昭和30年代に御母衣ダム建設のため、湖底に沈むことになった照蓮寺と光輪寺の境内から御母衣湖畔に移植された樹齢約500年の2本の巨桜。植樹された庄川桜の見ごろは4月上旬。ご参拝の折にはぜひご覧ください。

今月の法話 如是我聞

親鸞という名のりから

富山教区第10組 正覺寺
見義悦子(77)

親鸞という名のりは、浄土という世界観を開いてくださった七高僧の「天親」「曇鸞」「お二人の名前からいただいたという了解しか持っていなかった。しかし、数年前、とても大事な視点をいただいた。曇鸞は、天親の『浄土論』の註釈をとおして、宗教を求める心自体が、仏になろうとする心と、「他者を救いたい」という心の二つを持っていると表明された方であると。これは、自己の救いが先といういただき方をしてしまいがちな私たちに、人間とは関係を生きる存在、つまり「他者と共に」であることを言い当て、自己の課題と社会の課題は一つのことだと教えてくれる。

「あらゆる衆生を救う」と誓った如来は、誰の中にも「他者を救いたい」という心があることを「信じて」おられるのではないだろうか。

私自身、差別の問題が課題となつて四十数年経つが、運動に賛同してくれない人を「わかってくれない人」と選別しがちであった。それは、誰もの中に他者を救いたいという心があることに立っていなかったと気づかされる。歩みの、運動の、方向転換である。

あらためて「親鸞」という名のりを憶念しつつ、この時代社会の現実生活をとおして、教えに出あい続けていきたい。

伝導ブックス91 **新刊**
—被災地 能登からのメッセージ—
立ち上がる念仏
竹原 了珠(著)
新書判 80頁/定価:330円(税込)
令和6年能登半島地震の被災者であり、復興支援の現場に立ち続けている著者が、念仏の教え、発災後の動きについて語る。



近日発売
亡き方の声に 耳を澄ませて
—僧侶30人の お彼岸のお話—
花園 彰ほか 29名(著)
文庫判 192頁/定価:935円(税込)



『仏教がみちびく、あらたな人生』
特集 **陰謀論を じっと見る**
月刊 『同朋』3月号
A4判・オールカラー/60頁
定価:400円(税込・送料別)
年間購読:4,200円(税込・送料別)



好評発売中 **真宗聖典** 第二版
大判 定価 4,950円(税込)
小判 定価 4,400円(税込)

ご注文・お問い合わせは



TEL 075-371-9189 FAX 075-371-9211

詳しい書籍情報は

東本願寺出版

検索



令和6年能登半島地震で被害に遭われました被災者の方々に対し、衷心よりお見舞い申し上げます

この紙面では、さまざまな人とおして、現代社会の抱える課題や人間そのものについて考え、宗祖御遠忌テーマ「今、いのちがあなたを生きている」、慶讃テーマ「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」の学びを深めていきたいと思ひます。

人間のいのちの相

すがた
連載



おひとりさまと介護

2020年の国勢調査では、一般世帯における単身世帯の割合が38%で最多となりました。高齢者の単身世帯も増加する中、私たちは老いどのように向き合っていけばよいのでしょうか。頼れる身寄りのないご友人の介護をおとして、誰にでも必ず老いが訪れることを感じたという中澤まゆみさんのお話から人間の相を考えます。



インタビュー
中澤まゆみさん

1949年長野県生まれ。ノンフィクションライター。雑誌編集者を経てライターに。介護をきっかけに、医療と介護、福祉分野での執筆を始める。著書に『おひとりさまの終活』(三省堂)など。

友人の介護を経験して

— 中澤さんが「一人で生きる老後」を課題になさったいきさつを教えてください。

友人の介護が大きなきっかけです。彼女は15歳年上で、アルツハイマー型認知症と診断を受けたのは69歳の時。彼女とはそれまで30年程の付き合いがあり、年の差を感じることもなく仲良くしていました。

最初、彼女の物忘れは「老人性うつ」ではないかと疑っていたので、精神科クリニックを紹介し、乞われて通院にも付き添うようになりました。その後、大学病院で認知症と診断されると、ソーシャルワーカーや民生委員などが、人暮らしの彼女の家を訪ねる度に呼ばれるようになり、どんどん深く関わることになりました。そのころは、まだ私の両親も元気で、介護や老後の知識はほとんどなく、

お互い一人づつで彼女には頼れる身寄りがいないという状況をよく知っていたので、半ばなりゆきで関わっていたんです。結局、介護保険の申請も私がするようになり、彼女の介護のキーパーソン的な役割から、やがては後見人まで引き受けるようになりました。

そこで、認知症についても詳しく調べようになりました。その中でクリスティーン・ブライデンさんという認知症の当事者が書いた本に出会い、「認知症になるというのはこういうことなのか」と知り、介護をおとして感じていた疑問や、認知症に対する偏見が、本を読むことで少しずつ解け、本人の視点から考えることがだんだんできるようになりました。それまでは、「なぜ1日に20回も電話をかけてくるの?」と苛立っていたんですが、それが「忘れる」という自分の変化に混乱し、

「ともど」やひろくことが大切

— 私たちは、認知症について正しく認識していかないのかもしれないね。

私が介護に関わり始めた時から比べると、少しずつ変わってきてはいると思います。ただやはり「認知症が怖い」とか、「認知症になったら何もできなくなる」といった考えを持っている方もまだまだたくさんいらっしゃいます。

2020年に、私が住んでいる世田谷区で「認知症条例」が制定されましたが、その制定に私も委員として関わっており、現在も条例検討委員として認知症に

ちやと思つての介護でした。しかし、当時は50代で、まだ若いと思つていた私自身にも、やがては老いが来るのだということを感じ、自分も感じるようになったんです。そして、自分の両親の老いとも向き合うようになり、誰にでも老いが来るんだなというのを次第に実感していききました。

対する意識をどうしたら変えていけるのかを考えています。2023年には国の「認知症基本法」が制定され、各自治体でも条例の制定などの議論が始まったりしていることは、とても良いことだと思います。

— 各地で認知症の方をサポートするための講座なども行っておられますね。

どうしたら自分ごとと思つてもらえるのが一番大切なので、いろんな人たちでアプローチしていくことが必要なんじゃないでしょうか。



もちよりカフェ

が高い場合もあるので、日常の中で気軽に相談ができる居場所のようなものをつくってあげたいと思つたからです。

— 著書で「認知症の予防」という言葉が差別を生み出すというところを言われていますが、どういったことでしょうか。

予防のことばかり言われると、認知症になった人たちが「予防しなかったからだ」とはじき出されていくからです。ある認知症の当事者は、「運動しなかったから認知症になるなんて、そんなのウソよ」と言いました。その方は郵便配達を30年間続けていたそうです。だから「認知症は誰でもなる可能性があることを知ってほしい」と、声を大にして語っていました。

いろんなかたち居場所をつくっていくために

— 現在、単身世帯が急激に増えています。どう感じていらっしゃいますか。

単身世帯は増えています。2020年のデータでは、単身世帯が37.8%で、2050年には44.3%になるという推計が出ています。その大きな原因の一つは、生涯未婚の人が増えていることです。今、30代の男性の3人に1人、そして女性の5人に1人が、生涯未婚だと予測されています。

また、高齢者の場合、今は約半数が単身世帯になっています。その残りの半分も夫婦のみの世帯が多いので、だんだん単身世帯になっていきます。核家族化が

中で強く感じたことは、一方が支えるのではなく、「一緒にやっていく」という姿勢が大事だということです。地域で高齢者の見守り隊のようなものもありますが、「見守る」という上から目線ではなく、「一緒にやっていく」とか、伴走するといった視点を持つようになるといいと思います。「認知症の先輩として、いろいろなことを教えてほしい」と、そういう態度がとても重要なんです。

— 支える、支えられるという考え方は、やはり上下関係を生み出してしまいませんか。そうじゃなくて、ともにやっていく、「の」もに」ということが大切なのではないでしょうか。それが彼女の介護をしながら、私が学んだことだと思います。

— 進んできた結果、家族がいても頼れない、そういう社会になってしまったということもあると思ひます。

私は、「互助」のある社会というのは、ゆるやかなつながりを増やすかたちでつくっていくべきだと思つています。そして、あなたは「人じゃないんだよ」ということを示すことも大切だと思います。そのためには、やはりいろんなかたちの居場所をつくっていくことが有効なのではないかと思ひます。

世田谷区では、2018年から「せたがや居場所サミット」というイベントをしています。高齢者や子どもや障害



せたがや居場所サミットスタッフ、参加団体と一緒に

者、引きこもりの人などの居場所づくりをしている団体が集まって開催されていますが、大学の研究室ともコラボし、地域づくりにもつながっています。こうしたところに気軽に参加する人たちが増えていけば、少しずつ地域の感覚というものが変わっていくんじゃないかと思ひます。

— 「ご友人の介護をおとして、今どういったことを感じておられますか。」

基本的には、家族がいてもそれぞれ一人ずつである、という意識が大切だと思います。一人だからこそ、家族や友達など人とつながりたいと思う気持ちも生まれましますし、一人ずつだという意識を持っていると、人との距離が保てるようになってくるんじゃないかと思ひます。介護には「できなくなった部分」を支える人が必要ですから、誰かに依存しないといけ

ない。何かが起こった時に、上手に依存できる関係性を築くことが大切だと思ひます。

現在の在宅ケアは、お金と情報と人、それから介護・医療の保険制度があれば、一人暮らしでも何とかやっています。という仕組みだけはつくられています。問題はそれを支える専門職を含めた人材や地域資源が少なくなっていることです。が、仕組みは整えられているので、在宅ケアチームをつくることができれば、かなりのところで自宅で暮らすことは可能です。

— 私の友人の場合も、在宅ケアチームの支えで8年間、自宅で暮らすことができました。彼女の介護と医療を支えるチームができていけば、自宅で長期間暮らすこともできると思ひますが、今は人が足りません。特にヘルパーさんが圧倒的に足りません。在宅介護で一番必要なのは、やっぱりヘルパーさんです。在宅医療は進んで、今までできなかったこともいろいろできるようなりました。が、実際に介護を支えるヘルパーさんたちがいないという、人材不足の問題が深刻です。

— 家で最期を迎えたいという希望をみんなが実現できるように、われわれ自身も考えないといけませんね。

そうですね。だから、地域にどういう介護資源があるかとか、どんなサービスが介護保険で利用できるのかとか、そういう情報は折を見つけてできるだけ得ておいたほうがいいと思います。そして、自分でできることは自分自身ですることが大切だと思います。できないところは「助けて」と声を出せる社会環境を、地

域でつくっていくってほしいですね。自分の老いとともに歩みながら自分の最終章に向かっていくことが、ゆるやかにできればいいですね。そこには本人の意思と、それを受けとめる人の存在が大切です。

— 居場所としてお寺にはどういった可能性があるでしょうか。

お寺さんって、昔から地域の人が気軽に訪れることができる場所だったと思うんです。今もお寺さんはいろんな活動をされていて、ラジオ体操を毎朝やっているお寺もあるでしょうし、子ども食堂などをなさっているお寺もあります。そういったいろんな催しを自然体でやりながら、地域に根差していくことが今、求められているのではないのでしょうか。

— 一定の距離を保って依存がうまくできるような関係がつかうられていくとよいですね。

そうですね。ここに来たら、ほとんどできるよとか、こんなことができるよとか、いろんな相談ができるよとか、いろんなことがありますが、みんな集うと新しいことができるかもしれないと考え、地域が変わる希望も生まれてくるんじゃないでしょうか。

通信員リレーレポート

いまを生きる

第256回



組の報恩講で閉会の挨拶をされる渡辺さん

新潟県のほぼ中央、日本海側に「柏刈同朋の会」がある。その代表をされている渡辺正純さんにお話を伺った。

親鸞聖人の

願いを伝え続ける場

新潟教区 第10組 浄敬寺門徒 渡辺正純さん(80歳)



渡辺正純さん

日本全国のご門徒の方々と各地で開かれている同朋の会を紹介します。

浄敬寺との付き合いが始まったことで、寺に足を運び、法話を聞き、同朋の会の皆さんとも関わるようになった渡辺さんは、何百年も続いている浄土真宗の宗祖、親鸞聖人に興味を抱いた。これだけの歴史の基をつくられた人のことをもつと知りたい、勉強してみたいと深く思ったそうだ。

当初は、聞法の会に参加して親鸞聖人の教えを学ぶことで、人間的にも成長できると考えていた渡辺さん。ある時、聞法仲間から、「われわれがやっているのは、道徳を高めるだけか、倫理を極めることじゃないんだよ。『弥陀の本願』これ

新潟教区通信員 本多真淑

に慕っていくんだ」と言われ、本願や念仏とは何なのか、ますますわからなくなったそうだ。

手次寺や柏刈同朋の会、また近隣の寺の法話会で聞法しながら15年経った今、「まだ本願や念仏も完全にはわからないが、毎日、朝晩2回お内仏に手を合わせ、ナムアミダブツとお念仏している」と話してくださいました。

柏刈同朋の会は年に3〜4回の法話を開催し、毎年3月には新潟教区第10組の寺院とともに組の報恩講を勤めている。渡辺さんは今後の展望、課題について、全国の同朋の会が互いに交流しつながること、若者への働きかけなどを挙げ、前向きに真剣に考えている姿を見せてくれた。

「孤立無援な生き方をしてきた人々が、念仏をとおして御同朋、御同行として無量寿のいのちをともに生きるものとなる、この親鸞聖人の願いを受けこれからは孫や隣人に伝え続けていく、純粋な信仰運動を進めることが大切」と語る渡辺さんは、全国で同朋の会の結成が増えているという嬉しい願いも持たれている。

その思いや経験が同朋の会への熱意になっているのだと感じた。ともにお念仏によつて開かれる、いのちのいのちの出あいに、あらためて感謝と感動をいただいた。

お寺の掲示板

第19回

お寺の掲示板に込められたさまざまな願いを、今月の言葉と一緒に毎月お届けします。



光明寺(九州教区 鹿児島組)
鹿児島県久根市西目1288-2
住職 齊藤 暁生

人生夫婦竹
迷いを越えるあな無の杖
青藤 暁生

取材に伺った12月中旬、光明寺は在家報恩講が勤まっていた。在家報恩講は、各集落のご門徒の自宅を一軒一軒まわり、約1カ月かけて勤められる。他にも毎月、お寺にご門徒が集まり、声明や真宗の教えを学び、日々の所感を語り合う場も開かれている。こうした背景もあつてか、光明寺はご門徒との距離が非常に近い。掲示板も、そのご門徒の方々から寄せられたものであるという。

この掲示板上に掲示される内容は多岐にわたる。仏教についての言葉もあれば、詩や何気ない日常の一言など、一見すると仏教とは関係のない言葉も多くみられる。そのことについて齊藤暁生住職は「言葉の裏に仏さまの教えが流れているものであれば、掲示するものはなんでもいい」と語っている。

仏教は、日々直面する苦悩から逃げるのではなく、苦悩と向き合い、自分の問題として受けとめ、生きていくことを教えるものだろう。それを齊藤住職は一つの言葉に縛られることなく、さまざまな言葉を紡ぎながらご門徒に伝えようとしている。そこには、仏教をより多くの人に身近に感じてほしい、そして自身もご門徒とともに仏道を歩んでいきたいという願いが込められているのだろう。

九州教区通信員 中村 大心

定期刊行物および梱包配送料の価格改定のお知らせ

このたび、昨今の資材・運送費用の上昇に伴い、『真宗』・月刊『同朋』誌購読料、『同朋新聞』年間発送料および梱包配送料の価格を改定させていただきました。購読者各位におかれましては、何卒これらの諸事情をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

1 『真宗』購読料	3 『同朋新聞』年間発送料	4 梱包配送料
2025年7月号より 単号: 250円(税別) 年間購読: 3,000円(税別)	年間購読者および 個別発送申込寺院 2025年7月号より	2025年4月1日より ※日時指定をご希望の場合は、 現行通り1,000円(税別)の追加 送料をいただきます。
2 月刊『同朋』誌	部数	購入合計金額(税別)
2025年7月号より 単号: 400円(税別) 年間購読: 4,000円(税別)	1~5 1,500円	0円~1,999円 400円
	6~15 1,800円	2,000円 ~9,999円 800円
	16~100 3,500円	10,000円以上 無料
	101~300 5,000円	

真宗本廟奉仕に参加しましょう 一言葉では説明できない“場の力”がここにある

東本願寺御用達

日下念珠店

〒600-8174
京都市下京区烏丸通花屋町下ル
電話 (075)351-6325
フリ-FAX 0120-89-5255
定休日: 日曜日

宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌記念
紅地天人之図総手刺繍御打敷謹納

〒600-8159 京都市下京区烏丸通東本願寺前
TEL フリーダイヤル 0120-07-6391
FAX フリーダイヤル 0120-34-2816
https://shibata-houiten.com/
(Webカタログ掲載・商品動画配信中)

株式会社 柴田法衣店

親鸞聖人がお念仏の教えを自分のところまで届けてくださった師として、生涯大切に仰がれた方々がいます。「七高僧」と呼ばれるインドの龍樹・天親、中国の曇鸞・道綽・善導、日本の源信・源空(法然)。そして「和国の教主」と仰がれた聖徳太子です。親鸞聖人は彼らからどんな「ひかり」を受け取られたのでしょうか。道綽について、3回にわたってたずねています。



ひかり

七高僧と聖徳太子

第15回

道綽禅師



末法五濁の衆生は

聖道の修行

せしむとも

ひとりも証を

えじところ

教主世尊は

ときたまえ

〔高僧和讃〕

〔真宗聖典 第二版〕五九七頁

〔現代語訳〕

末法の世で五つの濁りの中で生きている衆生は、聖道の修行をさせたとしても、一人もさとりを得ることができない、と教主である釈迦牟尼世尊はお説きになったのだ。

末法

何ごとであれ、時間とともに変化していきます。釈尊以来の仏教についても同じように考えられました。釈尊の在世中や入滅後しばらくは正しいあり方が維持されるもの、その後は徐々にもとの姿を失っていくと考えられたのです。

当初の仏教のあり方が維持されている時代を「正法」と呼びます。やがて、従来の実践(行)を行なってもさとり(証)が得られなくなり、この時代を「像法」と呼びます。「像」とは「似たもの」という意味です。さらには、釈尊の時代と同様の実践(行)もできなくなり、かろうじて教えが伝わるだけとなってしまいます。この時代を「末法」と呼びます。

道綽禅師は、自らが生きている時代を「末法」と捉えました。

濁り

時代が変化して仏教のあり方が変化すること自体は何も悪くありません。その変化に合わせて対応していけば良いのです。ところが、その「変化に合わせて対応する」ということが、末法の世では殊更に難しくなります。それというのも、「五つの濁り(五濁)」が増すからです。その濁りとは、劫濁(時代の濁り)、見濁(見解の濁り)、煩惱濁(煩惱の濁り)、衆生濁(衆生の濁り)、命濁(寿命の濁り)を指します。

「濁っている」とは、単に汚れがあるというだけではありません。濁った中に見通

しが利きません。それは、濃い霧や靄に包まれているようなものです。目の前にあるのは何なのか、自分はどちらを向いているのか、まったくわからないままにいられているのです。濁った状況の恐ろしさは、単に真っ暗闇の中にいるのとは違って、何かが見えているような気がしてしまうところです。

わかつていないことも わかつていない

聖道門には素晴らしい修行方法がさまざまに説かれています。しかし、それら修行方法が効果を発揮するためには、それに相応しい環境がなくてはなりません。四拍子の音楽が鳴っているところで三拍子のダンスを踊ることは至難の業です。

しかし、濁った中では、最適な場所にいると思っても、実際には正反対の状況である可能性もあります。真面目に一所懸命に頑張っている、間違った方向に全速力で進んでいる可能性すらあるのです。

自分がわかつていないことに自分で気づくことはできません。道綽禅師は、自らが末法五濁の世に生きていると痛感しました。それは、濁りの外側からのひかりに気づかされたからでした。



わけみ あきら
采翠 晃
大谷大学文学部
仏教学科教授
京都都区近江第25西組
長光寺住職

本願念仏の教えをいただく御仏事

京都 真宗本廟(東本願寺)

春の法要

2025年 4月1日(火) → 5日(土)

ぜひ
ご覧ください。

詳しくは春の法要特設ページを
ご覧ください。

真宗大谷派 春の法要 検索



インターネットライブ配信のご案内

YouTube「真宗大谷派公式チャンネル」において、
春の法要のライブ配信を実施します。

YouTube真宗大谷派公式 検索



1日

師徳奉讃法要(楽) 阿弥陀堂

10時 ▶ 親鸞聖人が讃嘆する聖徳太子・七高僧をはじめ、
本願念仏の教えを伝えられた師主知識の恩徳を
奉讃する法要です。



師徳奉讃法要(楽)

親鸞聖人御誕生会 御影堂

13時20分 ▶ 記念講演 講師:青木玲氏
(九州大谷短期大学准教授)



14時 ▶ 音楽法要

宗祖親鸞聖人の御誕生と教えに思い
喜びを、音の荘厳をもって表現する音楽法要です。
指揮: 錦木勇樹氏(同朋高等学校音楽科主任教諭)
電子オルガン: 魯あす香氏
ティンパニ: 高藤摩紀氏(名古屋音楽大学教授)
合唱: 真宗大谷派合唱連盟他



親鸞聖人御誕生会

2日

全戦没者追弔法会

念仏者の平和運動

—戦争の抑止とは何か—

戦争でいのちを奪われた方々を憶念し、兵戈無用
(『仏説無量寿経』)の世界を願う法要です。

9時30分 ▶ 「追弔の傷」朗読:原田小鈴氏 御影堂
(長崎大学非常勤講師)

10時 ▶ 法要(楽)

11時20分 ▶ 記念講演

講師:ダニー・ネフセタイ氏
(木製家具作家・元イスラエル軍兵士)
講題:「武力で戦争は防げるの? ~気づき 戦争と人権~」



14時 ▶ 講演 しんらん交流館大谷ホール

講師:原田小鈴氏(長崎大学非常勤講師)
講題:「被爆80年 いま私たちが伝える
~世代を超えて語り継がれる
原爆・平和」



15時 ▶ 対談 ダニー・ネフセタイ氏 × 原田小鈴氏

3日

相続講員物故者追弔会 御影堂 兼 帰敬式受式物故者追弔会(楽)

11時 ▶ 亡くなられた方をご縁に、浄土真宗の教えにともに出会うことを願いとす法要です。

1-4日

帰敬式 御影堂

※3日は阿弥陀堂
仏・法・僧の三宝に帰依することを誓い、
仏弟子としての名告りを表す「法名」をい
ただく、生涯に一度の大切な儀式です。

礼金 | お一人1万円 (20歳以下お一人5,000円)

※「住職選定法名」での受式、複数で受式される方は1カ月前までに
参拝接待所へお申し込みください。受付時間は日によって異なります。

問い合わせ 本廟部参拝接待所 075-371-9210

3-5日

闍如上人三十三回忌法要 闍如上人 [1903年~1993年]



東本願寺第24代。闍如上人(大谷光暢門首)は、1903年10月1日、第23代影
如上人の長男として出生。法名は釋闍如。1925年に本願寺住職、大谷派法
主・管長を継承。1949年に蓮如上人四百五十回忌法要、1961年に宗祖親
鸞聖人七百回御遠忌を勤められ、1969年の開申事件に端を発する教団問
題を経て、1981年の宗憲改正により東本願寺第24代「門首」となる。1993
年、89歳で示寂。本年は三十三回忌にあたる。

御影堂門楼上一般公開

御影堂門(国指定重要文化財)の楼上(内部)の一般公開を行います。

【日時】4月1日(火)~6日(日) 10時~16時30分(最終受付16時)

※日程の都合により時間変更となる場合があります。

【受付】御影堂門下

【寄付金】1,000円 高校生以下 500円



春の渉成園と粥膳

東本願寺におそなえされたお仏供(お仏飯)
のおさがりを用いて作られた粥膳を
お召し上がりいただけます。



4月1日(火)~3日(木)

開始時間に皆さま揃ってお召し上がりいただけます。
1回目11時40分~ ※各回80名定員
2回目12時40分~

【会場】渉成園風亭

【冥加金】2,500円(当日、会場受付でお納めください)

【申込方法】必ずお電話にて前日16時までに本廟部参拝接待所へお申し込みください。

※人数変更及びキャンセルはご予約日の前日16時までです。

4月4日(金)・5日(土)
受付いただいた方から順次
お召し上がりいただけます。
受付時間11時~14時
※売り切れ次第終了

花御堂

【日時】4月1日(火)
~8日(火)
9時~16時30分
(8日は15時まで)

【会場】御影堂門下



名勝 渉成園「おもてなしの舟旅」特別ツアー

ツアーでは、和舟を使用した「舟旅」・
非公開茶室「漱枕居」の見学・非公開書院「臨池亭」
にて抹茶接待もしくは「蘆菴」にて粥膳を提供します。

【日時】3月31日(月)~4月5日(土)

1日6回
(10時・11時・12時・13時・14時・15時)

【定員】各回5名(乗船最大定員)

【冥加金】①通常(抹茶接待)1名6,000円

②粥膳(蘆菴1階/定員4名)1名 8,500円

粥膳(蘆菴2階/定員2名)1名10,000円

※参加費はすべて庭園維持寄付金込。

【申込方法】WEB予約制(渉成園ホームページをご覧ください) 開催します。



春の渉成園で
非日常のひと時を
お過ごしいただける
ツアーを期間限定で

刑務所作業製品 展示即売会・ パネル展

刑務所作業製品の
展示即売会と真宗大谷派
の教誨師や篤志面接委員
の取り組みを紹介する
パネル展を行います。



【日時】4月1日(火)
~5日(土)

9時~16時
(5日は12時まで)

【会場】白洲テント

山陽教区「阪神・淡路大震災追弔法要兼 教区重点課題学習会」開催 —震災から30年、悲しみを忘れずともに生きる—



動行の様子

仲間とともに各地で炊き出しや、倒壊した寺院やお内仏の解体作業を行ったことなど、これまでの一年間の歩みを話された。島山氏は「皆、それぞれ苦しいことを抱えながら、一緒に手を合わせお念仏申して生きていく仲間なんだと。お勤めというかたちで大事なことが常に届けられていた」と振り返り、「どんなかたちでもいので能登に足を運んでほしい」と支援を呼びかけた。



島山氏によるお話

お話の後には島山氏と五百井正浩氏(神戸組玉龍寺住職)、中杉隆法氏(神戸組西林寺住職)の鼎談が行われた。それぞれの被災体験や支援活動を基に震災後の課題を話し合う中で、五百井氏は「30年は節目であるが区切りではない」と述べ、震災を忘れず語り伝えていかなければならないと語った。

30年の月日の中で願われてきた震災の悲しみを忘れず、ともに生きるという課題を確かめ合う一日となった。(山陽教区通信員 青山祐一)

1月17日13時30分から、神戸市教育会館にて山陽教区教化委員会の社会問題部門と仏教青年会(以下、仏青)共催の「阪神・淡路大震災追弔法要兼教区重点課題学習会」が開催され、インターネットのライブ配信も行われた。

法要では、仏青会員による読経と「正信偈」が同朋唱和で勤まった。法要にあたって日野和雅仏青委員長が挨拶し、「追弔法要を毎年行うことで、悲しみを忘れない、悲しみによってつながった人を忘れない、私があることに向き合ってきたことを忘れないために」と法要の願いを確かめた。

学習会では、島山浄氏(能登教区常福寺住職)によるお話が行われ、昨年(2024年)の能登半島地震で被災後、有志の

真宗本廟お煤払い

昨年12月20日、真宗本廟にてお煤払いが執り行われた。お煤払いは御影堂と阿彌陀堂で1年間にたったほこりや塵を払い出す大掃除で、本願寺第8代蓮如上人のころから500年以上続く伝統行事。今回も、尾張清浄講(愛知県)をはじめ、奉仕団の方々や近隣住民、職員に加え、大谷中学校、京都光華中学校の生徒の皆さんにも参加いただき、あわせて273人が両堂の大掃除に奮闘した。

参加者は横一列に並び、職員の掛け声を合図に一斉に竹の棒で畳をたたきながら前進し、大うちわ役が舞い上がったほこりを、両堂の外へ仰ぎ出した。畳をた

たく大きな音と、舞い上がる真っ白なほこりの様子を興味深く見入る参拝者の姿も見られた。

作業後、新年を迎えるにあたり、新たにお給仕を始める儀式である「御規式」が行われ、大谷暢裕門首が紙帳(御本尊、御真影をほこりから守る紙でできた囲い)の上から、長柄箒で「寿」の字をなぞった。

参加した関係学校の生徒は「みんなでやってやりがいがあり、楽しかった」と感想を述べた。また、奉仕団の参加者は、「叩いている時はわからなかったけれど、遠くから見ると白いほこりがすごかった。鼻水が出てきた」と語った。



真宗本廟子ども奉仕団



東本願寺でおともだちと一緒にあそぼう!

テーマ **ほとけの子**

■第1回【2泊3日】7月25日(金)~27日(日)

講師:木村 慎氏(山陽教区)

■第2回【1泊2日】7月29日(火)~30日(水)

講師:榎山 正樹氏(名古屋教区)

対象 **小学校4・5・6年生**

4月15日(火)から予約受付を開始します。詳しくは、同朋会館ホームページをご覧ください。



同朋会館HP

お問い合わせ **同朋会館・研修部**

TEL:075-371-9185(直通) FAX:075-371-9201

Eメール: dobokaikan@higashihonganji.or.jp

お知らせ

「本山永代経」「本山申経」のお扱いの改定について

本年1月より「本山永代経」「本山申経」のお扱いの改定を行いました。「申経」の名称を「読経」に変更し、読経場所を冠して「御影堂読経」と「仏間読経」と称します。

また、「本山永代経」は今までお取扱いのなかった50万円と100万円を新設しました。

本山永代経

御影堂にて御紐解(初めての読経)を行い、『法名記』に搭載します。以降、春・秋彼岸会中にお勤めする「永代経総経」にご案内いたします。

御影堂読経

御影堂にて一座読経いたします。受付時に法名紙をお渡しし、代表者に法名を清書いただきます。法名紙は読経の際(焼香時)に広蓋に納めていただきます。

仏間読経

参拝接待所仏間にて一座読経いたします。参拝接待所受付に当日お申し込みください。

お問い合わせ **本願部 参拝接待所** 075-371-9210

読者のお便利

「ご本尊のある生活」を読んで

東京都大田区 萩原 秀邦(81歳)

私は東京都に住んでいますが、出身は福島県で、手次寺も福島にあります。実家は兄が継いだので、分家の私の家にはお内仏がありませんでした。

今から10年ほど前、京都に住んでいる息子の家を訪れた際に、東本願寺の参拝

接待所で「手を合わせるものはありますか」と尋ね、三折御本尊をお受けしました。その裏書に記された「方便法身尊形 釋淨如」という言葉。『同朋新聞』2024年12月号特集「ご本尊のある生活」を読んで、方便は「導き」という意味だと初めて知り

ました。特集を見ながら、タンスの上に置いている三折御本尊を虫眼鏡でじっくりと観察し、その立ち姿、手の形、蓮華、後光、三十二相を確認して大発見した気持ちになりました。このご本尊の前で毎朝お勤めをし、幸せを感じる日々を送っています。

お便り募集 『同朋新聞』の感想をはじめ、日々の思いなどをお寄せください。宛先 Eメール/shuppan@higashihonganji.or.jp FAX/075-371-9211 〒600-8505 京都市下京区丸太町七条上 東本願寺出版『同朋新聞編集係』

東本願寺 門徒勤行

読誦：東本願寺御堂衆 【収録】正信偈草四句目下 / 仏説阿彌陀経ほか

親鸞聖人のご生涯と教え DVD 13,200円(税込/送料サービス)

親鸞聖人御絵伝全四幅を手がかりに、親鸞聖人のご生涯と浄土真宗の教えをわかりやすくお伝えする。監修は柏原祐泉師。全60分。

雑賀正晃師法話集 各巻 2,200円(税込)

情熱溢れる語り口と深い信心で語り続けたご法話。◆通夜法話 この悲しみを縁として ◆通夜法話 別れは会う為にこそある ◆抱かれてあり ◆温もりの輪が広がる

CD 2,970円(税込 / CDサイズ経本付) カセットテープ 2,530円(税込 / お経カード付)

ゴータマ・ブツダの心を語る 【講演】中村元

CD11枚組 19,800円(税込/送料サービス)

人間ゴータマ・シッダールタと、仏教の原点を綴る仏典から、慈悲と寛容を説くブツダの教えをわかりやすくお話し載せます。

1. ゴータマ・ブツダのたいなる死
2. 仏弟子の告白・尼僧の告白
3. ゴータマ・ブツダの言葉から
4. 浄土三部経
5. 般若心経・金剛般若経
6. 法華経

全649分 解説書付

京都市下京区七条通大宮西入 **市原栄光堂** TEL 075(371)6843 FAX 075(371)8685

永田文昌堂

土岐慶正著 定価2750円(税込)

極楽の光景や阿彌陀仏の加威力を、広く深く分かりやすく読み解いた好評の『ラジオ法話』を完全収録。「阿彌陀経」を解説する決定版として、初心者の方にもおすすめしたい一冊。

真宗からの華厳・天台読本2 教義編 北塔光昇著 定価2200円(税込)

真宗僧侶が華厳と天台の二大宗旨を深く学ぶことは、これからの伝道布教の上でも非常に重要である。この書では、前書経典を踏まえ、各々の歴代祖師や教義をいくつかの部門に分けてわかりやすく解説する。

最新刊 川添泰信著 定価1100円(税込)

本願寺の新聞、または小冊子や、大学における揭示伝道の標語の解説などをまとめた法話集。主な内容として、「借越」と「ジョーク」/握手と合掌/安穩の未来/浄土真宗のお彼岸/この世にて/など。

〒600-8342 京都市下京区花屋町通西洞院西入 TEL 075-371-6651 FAX 075-351-9031

真宗門徒として帰敬式(おかみそり)を受けましょう 【帰敬式相談窓口 075-371-9185 平日9:00~16:00】

ご案内

真宗本廟

開門・閉門時間/3月~10月:5時50分~17時30分
11月~2月:6時20分~16時30分

晨朝(おあさじ)

【場所】阿弥陀堂
および御影堂
【時間】毎日7時~

晨朝法話

【場所】御影堂
【時間】毎日7時30分頃~

真宗本廟法話

【場所】視聴覚ホール・御影堂・参拝接待所仏間
【時間】通常 10時10分~/13時10分~
速夜日(12・27日)13時10分~
御命日(28日) 9時30分~

※その他、時間・会場を変更する場合があります。

参拝接待所ギャラリー

【時間】9時~16時
「蓮如上人御影道中展」(~3月26日)
「両堂再建展」(~3月24日)

詳しくは →

東本願寺

検索



しんらん交流館

真宗本廟(東本願寺)へご参拝の際には、ぜひお立ち寄りください。
開館時間/9時~17時 休館日/毎週火曜日

3月の定例法話

【時間】毎日14時~(12日、27日は10時~)
※休館日、3月22日、31日は休会。その他、都合により休会する場合があります。

3月の東本願寺日曜講演

【時間】9時30分~11時
【講師】3月2日 本明 義樹氏(大谷大学講師)
3月9日 中山 量純氏(解放運動推進本部本部委員)
3月16日 川島 弘之氏(東京教区報佛寺衆徒)

交流ギャラリー

「お釈迦さまとその風景」展(3月26日~)

詳しくは →

浄土真宗ドットインフォ

検索



2025年

真宗本廟奉仕に参加してみませんか

真宗本廟奉仕を機にぜひ帰敬式を受式ください

おみがき奉仕団

うらぼんえ
孟蘭盆会を迎えるにあたって、真宗本廟内の仏具のおみがきを中心とした奉仕団です。

2泊 2025年 7月1日(火)~3日(木)
1泊 2025年 7月1日(火)~2日(水)



【参加費】(2泊3日)18,000円、米2kg(1升4合)または米代1,300円
(1泊2日)13,000円、米1.2kg(8合)または米代800円
※上記は大人(15歳以上)の場合です。

子ども奉仕団

※詳細は7面をご確認ください。

第1回 7月25日(金)~27日(日)
第2回 7月29日(火)~30日(水)

※申込締切は各入館日の40日前です。

お申し込み・お問い合わせ

同朋会館・研修部
TEL:075-371-9185



入館中はお仲間や他団体の方々とカフェ(無料)でほっこり!

救援金のお願い

宗派では、「令和6年能登半島地震」に対する救援金を勧募しています。皆さまからの温かいご支援をお願い申し上げます。

救援金口座 郵便振替口座番号 00920-3-203053

加入者名 真宗大谷派 ※通信欄に「令和6年能登半島地震」とご記載ください。

救援金総額 245,839,854円

(2025年1月29日現在)

今月号の『同朋新聞』を読んで、クロスワードパズルを完成させよう!

プレゼント付

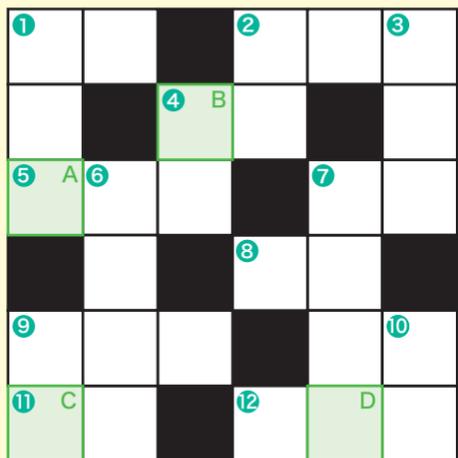
タテのカギ

- 1 御影堂にて〇〇〇とき(初めての読経)を行い、「法名記」に載せします。(7面)
2 「人間というのちの相」今月のタイトルは「おひ〇〇さまと介護」です。(2・3面)
3 真宗本廟境内南側の荘川桜(二世桜)は、2017年12月に〇〇〇ま教区・高山別院の宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌の記念事業として植樹されました。(1面)
4 刑務所作業製品の展示即売会と真宗大谷派の教師や〇〇面接委員の取り組みを紹介するパネル展を行います。(6面)
6 「ご案内」おみがき奉仕団は、〇〇〇〇えを迎えるにあたって、真宗本廟内の仏具のおみがきを中心とした奉仕団です。(8面)
7 「縁一お寺の掲示板」光明寺では、在家〇〇〇〇講は、各集落のご門徒の自宅を一軒一軒まわります。(4面)
10 宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗慶讃テーマ「南無阿〇〇仏人と生まれたことの意味をたずねていこう」(2・3面) 梓下)

ヨコのカギ

- 1 親鸞聖人が〇〇ん仏の教えを自分のところまで届けてくださった師として、生涯大切に仰がれた方々がいます。(5面)
2 「末法五濁の衆生は 聖道の修行せしむとも ひとりも証をえじとこそ 教主至尊は〇〇まえ」(5面)
5 2025年1月より「本山永代経」「本山中経」のお扱いの改定を行いました。「〇〇〇経」の名称を「読経」に変更し、読経場所を冠して「御影堂読経」と「仏間読経」と称します。(7面)
8 帰敬式は、仏・法・僧の三〇〇に帰依することを誓い、仏弟子としての名告りを表す「法名」をいただく、生涯に一度の大切な儀式です。(6面)
9 「現在を生きる」では、日本全国のご門徒の方々や各地で開かれている〇〇〇の会を紹介します。(4面)
11 「ご案内」参拝接待所ギャラリーでは、3月26日まで「〇〇如上人御影道中展」を開催しています。(8面)
12 師徳奉讃法要は、親鸞聖人が〇〇〇んする聖徳太子・七高僧をはじめ、本願念仏の教えを伝えられた師主知識の恩徳を奉讃する法要です。(6面)

「タテのカギ」「ヨコのカギ」それぞれの設問に答え、クロスワードパズルを完成させましょう! 3月号の『同朋新聞』を読むと、ほとんどの答えがわかります!!



1月号のクロスワードパズルの答えは、しんねん

答え A B C D
※答えはすべて「ひらがな」でお答えください。

編集室だより

◆2・3面「人間というのちの相」で、認知症の話が出てきます。私の祖母も晩年、同じことを何度も何度も尋ねてきていたことを思い出しました。はじめは少し戸惑いましたが、祖母の生涯の中でも本当に大きな出来事で、強い思いを抱えていたのだと思うようになり、私が根気強く答えてあげるんだという気持ちで祖母の側にいました。しかし今思うと、祖母の問いに丁寧に答えるということは、その時の私に大事な役目を与えてくれ、私を支えてくれるものになっていたように感じます。私自身も助けてもらってみたいと気づかされました。あらためて祖母にありがとうねと言いたいです。
◆7面「読者のお便り」で、本紙の特集を読まれて、あらためてご自宅のご本尊をじっくりご覧になったというお便りをご紹介しています。編集に携わった身として、とてもうれしい言葉でした。これからも皆さんのお声をしっかり受けとめながら『同朋新聞』をつくってまいります。(古賀)

読者のこえ

12月号を読んで

◆「人間というのちの相」食品ロスをなくすために自分でも何かできるか探してみようと思った。(富山県20代)

◆「読者のお便り」の石を割り生えるサルスベリの写真を見て、命の力強さを感じ、何かしらの安心したいなものをもらったように思いました。(北海道60代)

正解者の中から抽選で3名様に「東本願寺出版オリジナル図書カード1,000円分」、2名様に月刊『同朋』をプレゼントします!

郵便はがきまたはメールにて、①「クロスワードパズルの答え」②「郵便番号」・「住所」・「氏名」・「年齢」・「電話番号」と③『同朋新聞』の感想や紙面に関する要望を添えて、右記までご応募ください。今月号の締め切りは4月10日(木)(当日消印有効)です。

宛先 〒600-8505 京都市下京区烏丸通七条上る 東本願寺出版 「クロスワードパズル係」まで

メールでも応募できます!

はがきと同様に必ず左記①②③を記入し、「件名」に「同朋新聞3月号クロスワード応募」と入力の上higashihonganjishuppan@gmail.comへお送りください。

応募はコチラ



〈ご注意〉 ◆当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。◆個人情報はプレゼントの発送および紙面づくりの参考に使用し、それ以外の目的には使用しません。◆感想は「読者のお便り」や「読者のこえ」に掲載する場合があります。◆本クロスワードパズルは、独自のルールに基づいて作成しております。

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入 Tel.075-343-0458 Fax.075-371-0458

法蔵館

https://pub.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp 新刊メール配信中! お買上16,500円(税込)以上送料無料 表示価格はすべて税込

春彼岸を迎える 身近なことから真宗の教えにふれる開法話 一三六円

教行信証の哲学 武内義範(著) 石田慶和・岩田文昭(解説) 親鸞思想を「哲学」として世に知らしめた、宗教哲学不朽の名著。 一、二〇〇円

浄土教の展開 石田瑞彦(著) 梯信曉(解説) 日本における浄土教の展開を、教理的観点から分析するとともに、社会一般の情勢とも関連づけて評価した概説書。 一、六五〇円

法蔵館文庫 仏教について 西谷啓治(著) 氣多雅子(解説) 宗教哲学的思索の深く深い視界から現代世界の仏教が抱える問題をやさしく語る。 一、三二〇円

重版 聖典読解シリーズ5 正信偈 内藤康重(著) 確かな教義と知識に基づき「一字一句を丁寧に読み解く。基礎知識だけに留まらず、浄土思想の真髄にまで踏み込んだ最新の解説書! 四、一八〇円

『教行信証』からひもとく 浄土真宗の教え 藤澤信照(著) 梯實圓和上(浄土真宗本願寺派勸学)の名講義録「真宗要論」をもとに、著者が丹念に咀嚼・推敲を重ねた真宗教学のダイジェスト版。 一、九八〇円

絶望のトリセツ 人生の危機をのりきる方法 根本徹川(本佳苗(著))のべ2万人もの自殺志願者と対話し救ってきた、世界が注目する禅僧が語りかける、死にたくなくなるほどの危機的状況をのりきる方法。 一、五四〇円

悩んだら「歎異抄」 カウンセラーが見つけた光 富田富士也(著) 「歎異抄」の言葉には人とのつながりを見出し、気持ちを分かち合うための発想の転換があることを、長年の相談活動から明らかにする。 一、〇九〇円

生きる力になる本特集 あきらめる勇気 「見えなくなった」僕を助けてくれたのは松永信也(著) 見えなくても、今日も世界は美しい! 難病で視覚を失った著者が「見えないう」世界を伝える。泣いて笑ってほっと癒されるエッセイ。 一、五四〇円